

平成30年度 岡野中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

すべての教育活動を通して、自他の人権を尊重し、集団の中で、自らの存在を自己確認でき、お互いが認め合い、自尊感情のある生徒の育成をめざします。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

落ち着いた学校生活を送り、思いやりの気持ちを持って行動しようとしている。人とのコミュニケーションは好きだが、自分から挨拶するのはやや消極的である。地域の行事に参加する生徒が多く、また地域ボランティアの方の授業への協力も得ている。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・体験学習や学校行事を通して主体的に行動する力を伸ばし向上心や自立心を育てる。
- ・社会に興味関心を持ち、地域の一員としての意識や態度を育む。

指針1「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域（年に1回以上）に公開する。
授業公開後、アンケートを取り、道徳の時間の指導に生かす。
- ・家庭・地域における子どもの実態の把握
家庭や地域での様子（地域でのボランティア活動の様子、家庭や地域での挨拶など）についてアンケートを実施し、子どもの実態把握を行い、道徳の時間に生かす。
【視点1】

指針2 体験活動の充実

- 校外学習・職業体験・福祉体験・スキー教室・修学旅行等の体験学習や学校行事の充実
- ・望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築いていこうとする自主的・実践的態度を育て、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす力を伸ばす。【視点3】
 - ・体験活動を通して自分と向き合い、集団や社会の一員であることを実感しながら、思いやりの心や規範意識、望ましい勤労観、職業観について考え、実践しようとする力を育む。【視点4】